

年頭のご挨拶

新年明けましてお目出とうございます。
明るく良い年を迎えられましたことと思えます。

昨年は、整水器事業が比較的順調に伸長する一方、TRINGENが業績を飛躍的に伸ばし、ステムセル研究所がグループ会社となるなど、正に新たな成長ステージに入ったことを実感する年でした。

また、株価の年間上昇率が全上場会社で1位となり、社会的な評価も飛躍的に高まりました。

今年は、その成長ステージを奔り、更なるステップアップを実現する年です。
その為に、様々な面で会社を変えていきます。

いま、トリムグループは大変いい状況にあります。
しかし、そのことに慢心してはなりません。

「禍福は糾える縄の如し（かふくはあざなえるなわのごとし）」という故事成語があります。幸福と不幸は、より合わせた縄のように交互にやってくるものです。ですので、いい時には、決して有頂天にならず、また悪い時には悲観的になつてはならない。

先を見据えて、自らの職責を全うすることです。
会社の成長は、社員一人一人の成長なくしてありません。

昨年の合言葉は、イギリスの歴史学者アーノルド・トインビー博士の座右の銘、ラテン語の「LABOREMUS（ラボレムス）」、「さあ仕事を続けよう！」でしたが、今年もさらに「ラボレムス」を合言葉に一年頑張っていきましょう。

西暦二〇一四年 一月 五日

森澤紳勝